

放射性物質の評価とりまとめの骨子

1. 要請の経緯

2. 基本的考え方

3. 対象核種（注）

（1）物理化学的性状

- ・ 元素名、原子記号等
- ・ 物理学の半減期

（2）用途

（3）自然界での分布・移動

（4）ヒトへの曝露経路と曝露量

（原子力発電所事故による汚染状態）

（5）体内動態

（生物学的半減期）

（6）動物への影響

（7）ヒトへの影響

- ・ 急性影響（標的臓器、症状等）
- ・ 慢性影響（標的臓器、症状等）
- ・ 発がん性、生殖発生毒性、遺伝毒性

（8）国際機関等の評価

4. 食品健康影響評価

5. 今後の課題

（注）放射性ヨウ素、放射性セシウム、ウラン並びにプルトニウム及び超ウラン元素のアルファ核種についてそれぞれ作成する。